

黙っていても人がついてくるリーダーの条件

「みんなで力を合わせて」と言うスタンス。自分はこのスタンスが好きだ。

学生時代からも、社会人になっても、チームのピンチやお店が上手く回らないとか、そんな状況化でよく、みんなで力をあわせて頑張ろう！そんな一丸となった雰囲気や、その状況下でのパワーやみんなの必死な姿が好きだった。それで成果をだしたり、やりきった時の達成感を味わったこともあった。

この本を読み、最初にメモを取った内容が、「みんなで力をあわせて」と言うスタンスより、「一人でもやる」と言う覚悟を持ってことに望んでいる人のほうに惹きつけられる。と言う内容だった。

一人でもやる。そんな覚悟を持って仕事に臨み、行動できていたか？自問自答しても答えは「ノー」だった。絶対にやり通してやる！ やってみせる！ と思ってもどこか中途半端でちょっとしたことで、放り投げてしまいたくなる。その繰り返し。

半分くらいの力でしか仕事をしていないと言われ。昔のひたむきさ、泥臭さが今はない。そんな事を言われ何年か経つ。そんな事を言われるのは何が足りないのか？ 答えは出ているようで、何か足りない。確かにもっと仕事に対してひたむきに頑張ってきた。しかし何が足りなくなったのか？ 必死になって取り組み始めた。まだ答えが無い。そうすればいいか？ その答えの一つが、この本にもかいてあった「覚悟」だと思った。

確かに覚悟をもってやっている周りの仲間や友人を見ると、魅力を感じる。そう言った人はかっこよく自分のことを語れる。なにより眩しく見えるし、そんな人にみんながついて行く。想いが自分を動かすと前々から考えてはいたが、この覚悟がイコールで覚悟になるんじゃないか？ そんな事を学んだ。

今、自分がすべきことは覚悟を持つこと。そしてその覚悟をもって、目の前にある課題をクリアしていくこと。口から出すのではなく、心から出す覚悟を持って行動して生きたい。そして自分の行動を誇り、語れるようになる。